

## 新・福岡古楽音楽祭 2023

### 古楽い・ろ・は・塾 Vol.3 《スペシャル版》

# ヴァイオリンの真実～バロック・ヴァイオリンて何？

日時：10月13日(金)14:30-16:00

会場：円形ホール(アクロス福岡1F)

講師：寺神戸亮(バロック・ヴァイオリン奏者)

対象者：古楽初心者。

どなたでもご参加いただけます

※小学校入学前のお子様のお入場はできません。

受講料：1,000円

定員：100人 ※先着順。定員に達し次第受付終了

申込期間 ※先着順。定員に達し次第受付終了。

7月15日(土)10時～9月30日(土)15時

申込方法

ホームページのフォームより申込み

(<https://www.kogaku.net/>)



問い合わせ：新・福岡古楽音楽祭 事務局

✉ [kogaku.fes@gmail.com](mailto:kogaku.fes@gmail.com)

■ <https://www.kogaku.net/>

主催：新・福岡古楽音楽祭実行委員会、福岡県、福岡市、(公財)アクロス福岡、  
(公財)福岡市文化芸術振興財団  
後援：福岡県合唱連盟、福岡吹奏楽連盟



#### ◆講師からのメッセージ◆

ヴァイオリンはバロック音楽においても花形楽器で、みなさんは、音楽祭で以前から親しんできていらっしゃると思いますが、いざ「バロック・ヴァイオリン」て？と聞かれると実のところ結構知識は曖昧だったりするのではないのでしょうか？

少し歴史を辿りながら昔のヴァイオリンの特徴、演奏法の違い、弓の違いなどを演奏を交えながら解説していこうと思います。そしてもちろん、メインコンサートで取り上げる3大巨匠の作品にも触れて、スタイルの違いなどについてお話しします。



#### ◆講師プロフィール◆



#### 寺神戸亮 バロック・ヴァイオリン

桐朋学園大学卒業。1983年日本音楽コンクールヴァイオリン部門第3位。その後、東京フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを経てオランダへ留学し、デン・ハーグ王立音楽院にてシギスヴァルト・クイケンの下で研鑽を積む。ラ・プティット・バンドをはじめとしたヨーロッパを代表する古楽器アンサンブルやオーケストラのコンサートマスターを務め、リーダーとして優れた資質を発揮し、またソリストとして数多くのオーケストラと協奏曲を共演。初期バロックから後期ロマン派、印象派に至るまで、ソロ・室内楽で幅の広い活動を行っている。ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラを用いた演奏活動も精力的に行い、J.S.バッハ《無伴奏チェロ組曲全曲》録音ではレコード・アカデミー(器楽曲部門)賞を受賞。「第1回北とぴあ国際音楽祭'95」において、パーセルの《ダイドーとエネアス》で指揮者デビュー、以後ラモーやモーツァルトなどのオペラ作品を中心に公演し、日本で最もバロック・オペラに精通した貴重な存在である。2015年第45回東燃ゼネラル音楽賞受賞。

デン・ハーグ王立音楽院教授、桐朋学園音楽大学特任教授。ベルギー王立音楽院にてアーティスト・イン・レジデンスとしてマスタークラスを行っている。ベルギー、ブリュッセル在住。